

# かべ新聞

2010年8月20日

第11号

JR東海労新幹線地本

## 2010年度協約・協定改訂交渉スタート 組合＝将来にわたって安全で安心して働ける

### 労働条件と職場環境を整えろ！

### 会社＝すでに相当高い水準に到達している

### 労働条件について見直す点はないかを常に検証！

8月19日、2010年度協約・協定に向けての第1回団体交渉が開催されました。その中で、現場で働く社員と会社の認識の違いが明らかになりました。JR東海労の要求要旨と会社の基本姿勢は以下の通りです。

#### JR東海労要求要旨

JR東海の輸送状況は、悪条件が重なった昨年ではあるが、それと比べて106%と回復を見せている。これは、何よりも現場で働く社員が懸命に努力した結果である。会社としてこの社員の努力に応えることは至極当然のことである。

社員によるIC乗車券不正使用・飲酒にまつわる事象等など、この一年間で多くの不正や不祥事が発覚した。これは、社員の、人事・賃金制度や運輸システムの社員運用による待遇の悪化に対する不満と、会社の締め付けによって起きた歪んだ不満。これらを解消しようとする一つ現れである。社員管理の労務政策の破綻の結果として捉えるべきである。

一方的なマニュアルの押し付けによって安全は確立されない。社員の負託に応じてこそ会社の生命でもある安全が守られるのである。本年度も賃上げはベアゼロ回答であった。又、多くの社員は定昇が昨年よりも減額となった。このままでは社員のやる気は失せる一方である。以上のような状況では会社に明るい展望はない。したがって、将来にわたって安全で安心して働ける労働条件と職場環境を整えるべきだ。

#### 会社の基本的な姿勢

今年度の協約改訂交渉を開始するにあたり、交渉に臨む会社側の基本姿勢について述べておきたいと思います。今後、安全安定輸送の確保を最優先により質の高いサービスの提供を継続することを大前提として業務全般にわたる低コスト化の徹底や効率的な業務遂行などに不断に取り組み、経営体力を強化していく必要があると考えています。すでに相当高い水準に到達している当社の労働条件について、その水準が世間レベルから乖離していないか見直すべき点はないかということについても常に検証していくことも大切であると考えています。